

(12) まつ (観賞用マツ)

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 葉ふるい病 <i>Lophodermium conigenum</i> など	1. 樹勢を弱らせないようにする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病害を対象に防除しているところでは葉さび病、こぶ病の発生が少ない。	生 育 期	M1 M1	キノンドー水和剤40 ドウグリソ水和剤
2 斑点症 (シュートネクロサ菌)	〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病害を対象に防除しているところでは葉ふるい病、葉枯病、葉さび病、こぶ病の発生が少ない。	発 生 初 期	1 M3	トップジンM水和剤 ペンコゼブ水和剤
3 炭疽病 <i>Gloeosporium</i> sp.	〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病害を対象に防除しているところでは葉さび病、こぶ病の発生が少ない。	発 生 初 期	3	アンビルフロアブル
4 うどんこ病 <i>Oidium</i> sp.	〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病害を対象に防除しているところでは葉さび病、こぶ病の発生が少ない。	発 生 初 期	3	トリフミン水和剤
5 マツノマダラカミキリ成虫	1. 樹勢を弱らせないようにする。 2. 被害木は早め(5月上旬頃まで)に伐採し、成虫発生防止に留意して適正に処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スミパインは2~3週間間隔で、ネオニコチノイド剤(マツグリーン、モリエート、エコワン)は3~4週間間隔で、2~3回施用する。	5月中旬 ~8月下旬	1B 4A 4A 4A	スミパイン乳剤 マツグリーン液剤2 モリエートSC エコワン3フロアブル
6 マツカレハ	1. 秋期幼虫の越冬前に、樹幹にわら等を巻き、わら等を2月上旬頃に除き、処分する。	幼 虫 発 生 期 (6~9月)	1B 3A 4A 15	スミパイン乳剤 トレボン乳剤 マツグリーン液剤2 デミリン水和剤
7 ケムシ類		発 生 初 期	3A 4A 4A	アデイオン乳剤 スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤
8 アブラムシ類	1. シルバーマルチ、シルバーストライプマルチ、シルバーテープを使用する。	発 生 初 期	3A 4A 4A	アデイオン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 マツグリーン液剤2
9 ハダニ類	1. 発生が少なく、部分的である場合は被害枝の切除が有効である。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 石灰硫黄合剤でハダニ類を対象に防除しているところでは、葉ふるい病、葉枯病、葉さび病、こぶ病の発生が少ない。	新 梢 発 生 前 発 生 初 期	M2 10B	石灰硫黄合剤 バロックフロアブル
10 カイガラムシ類	1. 発生が少なく、部分的である場合は被害枝の切除が有効である。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ラビサンスプレーで防除しているところでは、ハダニ類の発生が少ない。	4月中旬 ~5月中旬 6月下旬 ~8月上旬	1B UNM	カルホス乳剤 ラビサンスプレー
11 ハバチ類	1. 発生が少なく、部分的である場合は被害枝の切除が有効である。	6月下旬 ~7月下旬	1B 15	スミパイン乳剤 デミリン水和剤
12 センチュウ類	〈薬剤使用の特記事項〉 1. スミパイン乳剤はオオハリセンチュウに登録がある。 2. ネマバスターはマツノザイセンチュウに登録がある。	移 植 前 鉢 上 げ 活 着 後	1B 1B	スミパイン乳剤 ネマバスター

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

(13) パンジー

防除法	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 根腐病 <i>Thielaviopsis basicola</i>	1. 床土は無病のものを使用する。	育 苗 期	1	ベ ン レ ー ト 水 和 剤
2 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 被害花卉、被害茎葉は早期に処分する。 2. 育苗は清潔な環境で行う。 3. ハウス内で育苗する場合は、室内が過湿にならないよう注意する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. サンヨールは開花前までに使用する。	発 病 初 期	—	サ ン ヨ ー ル
3 アブラムシ類	1. 防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを防止する。 2. シルバーマルチ、シルバーテープをはり、成虫の飛び込みを防止する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. サンヨールは開花前までに使用する。	定 植 前	4A	ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		発 生 初 期	—	サ ン ヨ ー ル

(14) ペチュニア

防除法	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 うどんこ病 <i>Oidium</i> sp. <i>Sphaerotheca fusca</i>	1. 日照不足にならないように注意する。 2. 適正な施肥によって過繁茂にならないようにする。 3. 激発した葉は摘除し、処分する。 4. 栽培終了後、被害茎葉は畑に残さないようにする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. サンヨールは開花前までに使用する。	発 病 初 期	—	サ ン ヨ ー ル
2 アブラムシ類	1. 防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを防止する。 2. シルバーマルチ、シルバーテープをはり、成虫の飛び込みを防止する。	定 植 前	4A	ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		定 植 時	4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
		生 育 期	4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤

(15) はばたん

防除法	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 アオムシ (モンシロチョウ)	1. 防虫ネット（4mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを防止する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	3A	ア デ ィ オ ン 乳 剤
2 コナガ	1. 防虫ネット（2mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを防止する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	15	ノ ー モ ル ト 乳 剤
			15	カ ス ケ ー ド 乳 剤

(16) マリーゴールド

防除法	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 ネキリムシ類	1. 定植前から圃場の除草を行う。 2. 防虫ネット（4mm目合以下）をはり、成虫の飛び込み、産卵を防止する。	生 育 初 期	3A	ガ ー ド ベ イ ト A

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

(17) バーベナ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 うどんこ病 <i>Sphaerotheca fusca</i> <i>Oidium</i> sp.	1. 葉かきをまめに行う。	発 病 初 期	M10	モ レ ス タ ン 水 和 剤
2 ハダニ類	1. ハウス内及び周辺の雑草をを除去する。 2. 寄生の見られる苗は定植しない。			

(18) 百日草

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 苗立枯病	1. 床土は無病のものを使用する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	植 付 前	8B	ク ロ ー ル ピ ク リ ン
2 うどんこ病 <i>Sphaerotheca fusca</i> <i>Euoidium</i> sp. <i>Oidium</i> sp.	1. 過繁茂にならないように植え付け、間隔をやや広く取り、施肥、灌水に注意する。			
3 ハダニ類	1. ハウス内及び周辺の雑草を除去する。 2. 寄生の見られる苗は定植しない。			

(19) プリムラ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 被害花弁、被害茎葉は早期に処分する。 2. 育苗は清潔な環境下で行う。 3. ハウス内で育苗する場合は、室内が過湿にならないように注意する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. サンヨールは開花前までに使用する。	発 病 初 期	1 - M7・19	ト ッ プ ジ ン M ゴ ル サ ン ヨ ー ル (混) ポ リ ベ リ ン 水 和 剤
2 オンシツコナジラミ	1. 防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを軽減する。	発 生 初 期		
3 アザミウマ類	1. 防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛び込みを軽減する。	発 生 初 期	1B	ト ク チ オ ン 乳 剤
4 キンケクチブトゾウムシ	1. 圃場周辺の雑草樹木から隔離して栽培する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. トクチオン乳剤、スプラサイド乳剤40は成虫、ガゼット粒剤は幼虫と成虫に登録がある。	発 生 初 期	1A 1B	ガ ゼ ッ ト 粒 剤 ト ク チ オ ン 乳 剤

(20) ベゴニア

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 キンケクチブトゾウムシ	1. 圃場周辺の雑草樹木から隔離して栽培する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. トクチオン乳剤は成虫、ガゼット粒剤は幼虫に登録がある。	発 生 初 期	1A 1B	ガ ゼ ッ ト 粒 剤 ト ク チ オ ン 乳 剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

(21) ひまわり

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 苗立枯病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 発病圃からの採種は避ける。 2. 前作に発生した圃場には作付を避ける。 3. 排水を図り、被害株は早めに処分する。 (薬剤使用の特記事項) 1. ユニフォーム粒剤は立枯病（リゾクトニア菌）に登録がある。	定 植 時 期	11・4	(混) ユニフォーム粒剤
		発 病 初 期	M4	オーソサイド水和剤 80
2 空洞病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 排水不良畑は排水をよくする。 2. 灌水や管理作業時に植物体を傷つけないようにていねいに扱う。	発 病 初 期	M1 M1	ドイツボルドー A ボ ル ド ー
3 べと病 <i>Plasmopara halstedii</i>	1. 日射、通風をよくする。 2. 多湿条件で多発しやすいので湿度管理に注意する。	発 病 初 期	M4	オーソサイド水和剤 80
4 黒斑病 <i>Alternaria helianthi</i>	1. 排水不良畑は排水をよくする。	発 病 初 期	M4	オーソサイド水和剤 80
5 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 排水不良畑は排水をよくする。	発 病 初 期	10・1	ゲ ッ タ ー 水 和 剤
6 斑点病 <i>Cercospora pachypus</i>	1. 排水不良畑は排水をよくする。	発 病 初 期	10・1	ゲ ッ タ ー 水 和 剤